

# 茶生産予測マッピングシステムを開発

(宇治茶データ解析・活用システム開発事業(令和元年9月補正予算)研究成果)

**国研究機関・ICT企業等と連携し、茶園単位(50m四方単位)で茶の管理アシスト情報がスマホで確認できるシステムを開発しました。**

背景

- ・抹茶の原料であるてん茶は全国規模で生産が拡大、産地間競争が激化
- ・きめ細やかな管理による一層の高品質化と安定生産が求められている

課題等

- ・適期作業による品質・収量向上、病害虫・霜害等のリスク低減のため、生産に活用できる情報を茶園ごとに提供するシステムが必要

## システムの概要

50m四方単位で  
気温を推定



☆本システムを利用し、適期作業を行うことで

- ・霜害の回避
  - ・摘採適期の作業
  - ・適期防除
- ▶ 品質・収量向上

### <機能>

#### ①降霜予測

- ・2日先までの降霜の可能性を予測
- ・降霜が予想された場合、アラートメールを送信

#### ②摘採適期予測

- ・煎茶(及び直がけてん茶)の摘採適期を予測
- ・任意の適期前日数にアラートメールを送信

#### ③クワシロカイガラムシ防除適期予測

- ・クワシロカイガラムシの防除適期を予測
- ・任意の適期前日数にアラートメールを送信

#### ④過去の気象データ確認

- ・過去半旬と2日先までの気温をグラフ化(最高・最低・日平均)

- ・本システムは、農研機構西日本農業研究センターの開発した50mメッシュ気候データ解析モデルを応用し、同センターとICT企業(ビジョンテック(株))と共同で開発
- ・農業情報研究センター(\*注)と連携し、AI技術を利用して、摘採適期予測モデルを開発
- ・ICT企業(エグザム(株))との連携により、これらの予測がスマホで確認可能

\* 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業情報研究センター

## 研究成果

- ・茶の生産に関する情報(降霜、摘採適期、クワシロカイガラムシ防除適期)を茶園単位(50m四方単位)で予測し、スマホで確認できるシステムを開発

## 今後の展開

- ・本システムを主要技術として「スマート農業実証プロジェクト」事業(令和2~3年度)で試験運用と機能拡充(萌芽期予測や他品種への対応等)を実施
- ・令和3年度からの本格運用を目指します。